

市民意見公募手続の実施結果

事案番号 12219

所管課名 環境モデル都市推進課

実施事案名 第2期松山市環境モデル都市行動計画(案)

意見提出期間 R5.2.15 ~ R5.3.16 30 日間

●意見の提出の有無 ☒ 有 ☐ 無

●意見の提出件数 個人: 5 件 (2) 人 【件数内訳】 持参: 2 郵送: 3 Fax: 0 電子メール: 0 その他: 0
 団体: 0 件 (0) 人 【件数内訳】 持参: 郵送: Fax: 電子メール: その他:
 合計: 5 件 (2) 人 【件数内訳】 持参: 2 郵送: 3 Fax: 0 電子メール: 0 その他: 0

●意見の反映件数 0 件 / 5 件

★提出のあった意見の概要及びそれに対する市の考え方等

意見の概要	意見に対する市の考え方	政策等の案の修正内容
◆類似意見の集約 ☐ 有 ☒ 無 ※ 集約意見数 (0) 件 耕作放棄地の農業用地への転換や輸入原料による化学肥料の低減等による環境保全型スマート農業を推進するべきである。	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし 頂いた御意見については、P65「(3-c)スマート農林水産業等の推進」で取り組むこととしておりますので、現状のままとさせていただきます。	
◆類似意見の集約 ☐ 有 ☒ 無 ※ 集約意見数 (0) 件 松山市は全国的に自動車のCO2排出量が多いことから、ドイツの自転車及び公共交通機関の利用促進策の事例を見習ってほしい。	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし 運輸部門から排出される温室効果ガスについては、電気自動車やV2H設置に対する補助をはじめ、脱炭素型ライフスタイルの転換を促すための普及啓発で対策を行うこととしています。また、スマートシティの実証として、中島地域でのグリーンローモビリティやE-Bikeの活用により、再エネの「創る・貯める・賢く使う」仕組みを普及させるとともに、島内の周遊性向上につなげており、頂いた御意見は今後、具体的に事業を立案する際の参考とさせていただきます。	
◆類似意見の集約 ☐ 有 ☒ 無 ※ 集約意見数 (0) 件 エネルギーの地産地消の観点から営業時間の長いコンビニや石油スタンドに対して、太陽光発電の設置を義務付け、その設置に係る費用に対し補助金を出してはどうか。	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし 本市では、太陽光発電システムを普及させるため、当該システムを設置した個人又は法人に対し補助を行っており、P58「(1-a)自家消費型太陽光発電システム等の導入」で取り組むこととしておりますので、頂いた御意見については、現状のままとさせていただきます。	
◆類似意見の集約 ☐ 有 ☒ 無 ※ 集約意見数 (0) 件 電気自動車に対して、5～10万円の補助金を出してはどうか。	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし 本市では、松山市グリーンエネルギー自動車導入促進補助金を設け、要件を満たすと上限20万円の補助を受けることが可能です。 なお、頂いた御意見については、P65「(3-b)脱炭素モビリティ等の導入促進・防災力強化」で取り組むこととしておりますので、現状のままとさせていただきます。	
◆類似意見の集約 ☐ 有 ☒ 無 ※ 集約意見数 (0) 件 水不足へのアピール、さらに観光のシンボルとして、「三連水車」を北条や伊台地区に設置してはどうか。	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし 水不足への対策は、P72「(6)気候変動への適応」の中で水資源の保全や有効活用について記載しており、頂いた御意見は、具体的に事業を立案する際の参考とさせていただきます。	

★政策等の案の公表後、実施機関が自らの判断で修正した内容

修正内容			修正理由
修正前		修正後	
	⇒		
	⇒		